

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|-------------------|------|-------|
| 科コード` 12101 | 科名` ファッション工科基礎科1年 | 単 位 | 19単位 |
| 科目コード` 000210 | 科目名` 服装造形 I | 授業期間 | 前期・後期 |

| | |
|---------------------|---|
| 担当教員(代表): 早瀬 千加子他担任 | 共同担当者: 1-早瀬・2-池端・3-北山・4-松本・5-徳増 6-森本 |
|---------------------|---|

科目概要、到達目標、レベル設定

- ・衣服全般の基礎知識を習得する。(縫合の基礎、作図基礎理論、体型観察)
- ・服作りの基礎となる服の構造、デザイン表現、作図方法、素材の扱い方、縫製方法を各アイテムにおいて習得する。
- ・バザー作品を通し、ボランティア精神の育成と既製服としてのデザイン、縫製法、検品、販売までの流れを学習する。
- ・ドレーピングの基礎知識を習得する。(ボディについて、布の準備、基礎ドレーピング・マーキング・ドラフティング)

【授業計画】

| | | |
|-----------------|-----|----------|
| 服装造形論 I | 4単位 | (000210) |
| 服装造形デザイン I | 4単位 | (000310) |
| 服装造形パターンメイキング I | 4単位 | (000510) |
| 服装造形ソーイング I | 7単位 | (000610) |

| | | |
|----------------------|---------|--|
| 1 基礎 I (一般知識・縫い方の基礎) | 前期7コマ | 基礎縫いA ミシン縫い・B 手縫い |
| 2 体型研究 | 前後期23コマ | 身頃原型・スカート原型(1/4・実物作図)・トワル製作・試着補正・レポート) |
| 3 スカート I | 前期18コマ | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 4 シャツブラウス I | 前期34コマ | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 5 子供服 | 前期3コマ | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 6 バザー作品 | 前後期9コマ | 文化祭バザー作品実物製作・検品・販売 |
| 7 スカート II | 後期23コマ | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 8 ジャケット I | 後期56コマ | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 9 ワンピースドレス I | 後期53コマ | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 10 パンツ I | 後期14コマ | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 12 ドレーピング基礎(文化ボディ) | 後期6コマ | 胸ぐせダーツのバリエーション(アームホールダーツ) |

評価方法・対象・比重
 ・評価基準: 服装造形論 学業評価100%・服装造形デザイン、パターンメイキング、ソーイング 学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書
 文化ファッション大系 服飾造形講座 ①服飾造形の基礎 ②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース
 ④ジャケット・ベスト ⑧子供服 ⑨メンズウエア I
 文化ファッション大系 アパレル生産講座 ③立体裁断 基礎編

参考図書 装苑・コレクション誌他

その他資料 実物標本・段階標本、参考プリント他

記載者署名欄 早瀬 千加子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|-------------------|-------|--------|
| 科コード` 12101 | 科名` ファッション工科基礎科1年 | 単 位` | ※1単位 |
| 科目コード` 005600 | 科目名` 量産技術概論・実習 | 授業期間` | 通年(集中) |

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 担当教員(代表): 佐藤 明彦 | 共同担当者: 成田 邦子、宮澤 国博、加藤 紀人 |
|-----------------|--------------------------|

科目概要
 アパレル製品の生産について関心を持たせ、一品作りと量産の違いについて認識させること目標とする。
 実習として工業用ミシン・アイロンを主とした生産機器の安全な使用方法を習得する。
 後期には生産指示書類の見方に関する講義や特殊機器見学を行い工業生産に関する理解を深める。

授業概要

I. ガイダンス (1コマ)
 ①授業概要説明(出席、評価方法等)
 ②実習に関する注意事項

II. 基礎練習 (2コマ)
 ①本縫いミシン・縁かがりミシン・アイロンの操作方法
 ②工業生産機器を活用した縫製練習(部分縫い)

III. アパレル産業界の生産プロセス (1コマ)
 ①アパレル産業界の生産プロセス
 ②量産と作品作りの違いについて

IV. 仕様書と指図書の見方 (1コマ)
 ①加工裁断芯貼り指図書とは
 ②縫製仕様書とは

V. 工程分析表 (1コマ)
 ①工程分析とは
 ②工程分析表の見方

VI. 特殊機器見学 (1コマ)
 ①工業生産機器の名称や役割について理解を深める

※クラスでのバザー作品製作コマ数を合算して1単位とする

評価方法・対象・比重
 提出物(30%) + 出席状況(70%) ※クラスでのバザー作品製作コマ数を勘案してP評価とする

主要教材図書
 「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書
 なし

その他資料
 プリント配布

記載者氏名 佐藤 明彦

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------------------|-------------------|------|-----|
| 科コード` 12101 | 科名` ファッション工科基礎科1年 | 単 位 | 2単位 |
| 科目コード` 950011、 950012 | 科目名` 自由研究IA、IB | 授業期間 | 通年 |

| | |
|--------------------|---|
| 担当教員(代表): 早瀬千加子他担任 | 共同担当者: 1-早瀬・2-池端・3-北山・4-松本・5-徳増 6-森本 |
|--------------------|---|

| |
|--|
| <p>科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装造形の全ての細目において、各自興味を持ったテーマについて研究する。 ・各自の目標に合わせて既習細目におけるレベルの向上をはかる。 ・個々の能力に合わせて知識・技術を応用発展させ、各自の専門性を追及する。 ・発表会(展示会)を行うことにより、プレゼンテーション能力を養う。 |
|--|

| |
|---|
| <p>各自の目標に合わせて計画をたて、個々の能力に合わせて知識・技術を応用発展させて研究を行う。 前期末にて提出し点検・採点を行い、後期の研究につなげる。 学年末に発表会・展示会を行う。</p> |
|---|

| |
|-------------------------------------|
| <p>評価方法・対象・比重 研究発表・作品・レポート他</p> |
|-------------------------------------|

| |
|---------------------------|
| <p>主要教材図書 文化ファッション大系他</p> |
|---------------------------|

| |
|----------------|
| <p>参考図書 なし</p> |
|----------------|

| |
|-----------------|
| <p>その他資料 なし</p> |
|-----------------|

| |
|----------------------|
| <p>記載者署名欄 早瀬 千加子</p> |
|----------------------|

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|--------------------|------|-----|
| 科コード` 12101 | 科名` ファッション工科基礎科 1年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード` 600100 | 科目名` ファッションビジネス概論 | 授業期間 | 後期 |

| | |
|-----------------|--------|
| 担当教員(代表): 澤住 倫子 | 共同担当者: |
|-----------------|--------|

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

| |
|--|
| <p>I. ファッションとビジネス (2コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係 2. ファッションの範囲と流行の把握 <p>II. ファッションビジネスの特性 (4コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションの構成メンバー ファッション企業の分類 2. ファッションビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 現代のキーワード 3. 現代のファッションキーワード <p>III. ファッション産業の構造 (3コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地 2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー 3. 小売業の構造について リテール業界と新業態 <p>IV. ファッションビジネスの実務 (3コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アパレル企業の業務と職種について 2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動 3. マーケティングの基礎知識 <p>V. まとめ (2コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファッション産業今後の課題 2. 最新ファッションキーワード <p>※すべて講義</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>評価方法・対象・比重</p> <p>テキスト提出 30% 出席日数 70%</p> |
|--|

| |
|---------------------------------|
| <p>主要教材図書 ファッションビジネス概論用プリント</p> |
| <p>参考図書 日経、織研新聞、繊維白書など</p> |
| <p>その他資料 教材専用プリント類</p> |

記載者氏名 澤住 倫子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|-------------------|------|-----|
| 科コード 12101 | 科名 ファッション工科基礎科 1年 | 単 位 | 2単位 |
| 科目コード 500810 | 科目名 ファッションデザイン画 I | 授業期間 | 1年間 |

| | |
|------------------|----------------|
| 担当教員(代表) : 金谷 容子 | 共同担当者 : 坂本 真由美 |
|------------------|----------------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッションデザイン画は、人体のプロポーションと衣服のバランスを把握し、デザインの構造を明確に描く事が出来るよう基礎技法から幅広い画材研究まで習得し、各自のデザインワークにつなげていく事を目標とする。

1. 人体のプロポーション(8頭身)【2コマ】
2. ポーズ 身体の動き流れをつかむ(支脚・遊脚)【3コマ】
 ・各種ポーズの描き方 ・顔手脚の描き方
3. 着装表現 身体の動きと衣服の関係(しわ 陰影 衣服の構造線の描き方)【3コマ】
4. アウトライン 仕上げ線の描き方(グラフィックペン・色鉛筆・筆ペン)【2コマ】
5. アイテム図 各種アイテム(フロントスタイル&バックスタイル)【3コマ】
6. 彩色練習 (水彩絵の具の習得・筆の使い方・肌の色)【2コマ】
7. 素材表現(特徴のある素材を描く)【3コマ】
 毛並・光沢・凹凸感など(各種画材説明)
8. デザイン発想 創作デザインと表現力の強化【2コマ】
9. 修了制作 イラストボード・校内ファッション画展にむけて作品制作【5コマ】
10. 1年間のまとめ【1コマ】

評価方法・対象・比重
 ① S~C・F評価
 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画・補助プリント

参考図書 ファッション雑誌など

その他資料

記載者氏名 金谷 容子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|------------------|------|--------|
| 科コード 12101 | 科名 ファッション工科基礎科1年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード 500100 | 科目名 クロッキー | 授業期間 | 通年(隔週) |

担当教員：柳澤 利光

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 様々なものの見方を通じ、ものを見て描く事・表現につながる描写と楽しさを再認識する事と合わせ、個性を伸ばす為の観察力・デザインイメージを見る側に伝える基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。

- 1、 オリエンテーション：形の捉え方・見方から展望を持つ。
- 2、 ①速写をする：コレクション映像を描き、動きを捉えるトレーニング。
 ②クロッキーのポイント：描きやすい方法を知る。
- 3、 部分の理解(顔)：マヌカン・石膏像等の顔描写。
- 4、 部分の理解(脚・手)：マヌカンの脚を描き曲線と直線に視点を。
- 5、 水彩技法Ⅰ：混色のこつ、色作り、画材使用方法の基礎。はがき大ワトソン紙作品制作。
- 6、 立体技法：チョークによる明暗の描写。立体感の出し方。
- 7、 水彩技法Ⅱ：水彩技法の説明。水彩による半着装マヌカン描写。
- 8、 無彩色技法：墨による、滲み・ぼかし・淡彩等の可能性。白黒の視点の大切さ。
- 9、衣服と人体：トルソによる基礎的測定法の説明。人体を意識した着装描写。
- 10、表現技法：様々な画材の使用と応用法。身の回りの利用可能な様々な材料。
- 11、ヌードクロッキー：ヌードクロッキー実習。
- 12、カット・細密描写：よく見ることから表現。
- 13、まとめ：感情表現・発想法。

評価方法・対象・比重
 S~C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

記載者氏名 柳澤 利光

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|-------------------|------|--------|
| 科コード` 12101 | 科名` ファッション工科基礎科1年 | 単 位 | 2単位 |
| 科目コード` 400400 | 科目名` 西洋服装史 | 授業期間 | 通年 () |

| | |
|----------------|--------|
| 担当教員(代表): 朝日 真 | 共同担当者: |
|----------------|--------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾の特長を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を見ていく。20世紀以降はデザイナーの時代であり、デザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からのアプローチによって理解を深める。

| コマ | 内 容 | コマ | 内 容 |
|----|----------------|----|------------------|
| 1 | オリエンテーション | 16 | 1950年代のファッション(1) |
| 2 | 博物館見学 | 17 | 1950年代のファッション(2) |
| 3 | 古代の服飾 | 18 | 1960年代のファッション(1) |
| 4 | 中世の服飾 | 19 | 1960年代のファッション(2) |
| 5 | ルネサンスの服飾 | 20 | 1960年代のファッション(3) |
| 6 | バロックの服飾 | 21 | 1970年代のファッション(1) |
| 7 | ロココの服飾 | 22 | 1970年代のファッション(2) |
| 8 | 第一帝政、王政復古時代の服飾 | 23 | 1980年代のファッション(1) |
| 9 | 第二帝政時代の服飾 | 24 | 1980年代のファッション(2) |
| 10 | 第三共和制時代の服飾 | 25 | 1990年代のファッション(1) |
| 11 | アールヌーヴォー様式期の服飾 | 26 | 1990年代のファッション(2) |
| 12 | 1910年代のファッション | 27 | |
| 13 | 1920年代のファッション | 28 | |
| 14 | 1930年代のファッション | 29 | |
| 15 | 1940年代のファッション | 30 | |

評価方法・対象・比重
 前期レポート提出(30%)、学年末定期試験(30%)、出欠と授業態度(40%)

| |
|-----------------------------|
| 主要教材図書 文化ファッション大系「西洋服装史」 |
| 参考図書 |
| その他資料 |

記載者氏名 朝日 真

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|------|-----|
| 科コード | 12101 | 科名 | ファッション工科基礎科1年 | 単位 | 2単位 |
| 科目コード | 400210 | 科目名 | 服飾デザイン論 I | 授業期間 | 通年 |

| | |
|-----------------|--------|
| 担当教員(代表)：三枝 みさお | 共同担当者： |
|-----------------|--------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

レベル設定：色彩の基礎知識や配色の基礎、形態の構成要素やデザイン展開、コンポジションのセオリーについて理解し、それぞれのテーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

【授業計画】

- 1. デザイン概論**
 - ・デザインの定義、デザインプロセス、ジャンル
- 2. 服飾デザイン概論**
 - ・服飾デザインの目的
 - ・造形的視点、機能的視点
- 3. 色彩**
 - ・色の三属性とトーン [カラーチャート作成]
 - ・色の識別 [課題作成：HUE]
 - ・色彩とイメージ [課題作成：色彩とイメージ]
 - ・色彩の感情効果 [プリント演習]
 - ・色相を基準にした配色 [課題作成：カラーコーディネーション]
 - ・トーンを基準にした配色 [プリント演習]
 - ・光と色、三原色と混色 [プリント演習]
 - ・色の見え [プリント演習]
 - ・パーソナルカラー [プリント演習]
- 4. 形態**
 - ・形態の構成要素 [プリント演習]
 - ・形態の感情効果 [プリント演習]
 - ・シルエットの種類と特徴 [プリント演習]
 - ・線とシルエットの分析 [プリント演習]
 - ・線とシルエットの発想 [課題作成：直線/曲線]
 - ・形態の見え方、イリュージョン [プリント演習]
 - ・形態の展開 [課題作成：形態の展開]
- 5. テクスチャー**
 - ・視覚的触感 [プリント演習]
- 6. コンポジション**
 - ・ドミナント/セントラリティ [課題作成：コンポジション]
 - ・シンメトリー/アシンメトリー [プリント演習]
 - ・リズム (レギュラー、イレギュラー、グラデーション) [プリント演習]
 - ・色彩構成 [プリント演習]
- 7. 服飾デザインの展開**
 - ・発想法の種類 [プリント演習]
 - ・発想法の活用 [プリント演習]
 - ・デザイン発想 [課題作成：デザイン発想]

【授業方法】 講義、演習 (プリント演習、課題作成)

【評価方法】 S～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書
文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座② 『服飾デザイン』 文化服装学院編 文化出版局発行

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140 B5版、ベーシックカラー140 B8版、カラーチャート

記載者氏名 三枝みさお

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|------------------|------|-----|
| 科コード 12101 | 科名 ファッション工科基礎科1年 | 単位 | 2単位 |
| 科目コード 200310 | 科目名 アパレル素材論 I | 授業期間 | 通年 |

| | |
|-----------------|---------|
| 担当教員(代表) : 金澤三枝 | 共同担当者 : |
|-----------------|---------|

概要(教育目標・レベル設定など)

アパレル製品や各自製作物の素材に関心を持たせることを目標とし、アパレル(衣服)の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎的知識を習得させる。さらに代表的な綿、毛、絹織物の種類に関して、教材(テキスタイルファブリック)を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ、理解を図る。

1. 概論(2コマ)(講義および演習)
 - ・各自着用しているアパレル製品の品質表示を通して、繊維組成や取扱い方法、織物、編物の違いなどを認識させる
2. 繊維
 - 2-1 繊維の分類(8コマ)(講義および演習、実験)
 - (1) 繊維の形状、性能、混用による分類および名称、用語について
 - (2) 繊維の鑑別
 - ・鑑別法(顕微鏡法、呈色法) 実験
 - 2-2 天然繊維(8コマ)(講義および演習)
 - (1) 綿 (2) 麻 (3) 毛 (4) 絹
 - ・各繊維の種類、構造と成分、性質、加工などについて
 - 各繊維の代表的な織物の種類と特徴について(糸、織物組織、加工など)
 - 2-3 化学繊維(2コマ)(講義)
 - (1) 再生繊維 (2) 半合成繊維 (3) 合成繊維
 - ・各繊維の種類、性質、加工などについて
3. 糸(3コマ)(講義および演習)
 - (1) 紡績糸、フィラメント糸について
 - (2) 糸の撚り構成、撚りの強弱について
 - (3) 糸の太さの表示
 - (4) ファンシーヤーン、加工糸などの種類
4. 布地(3コマ)(講義および演習)
 - (1) 織物
 - ・構造、組織、特徴など
 - (2) 編物
 - ・構造、特徴など

評価方法・対象・比重

学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座①「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブックアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

記載者氏名 金澤三枝

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|-------------------|------|--------|
| 科コード` 12101 | 科名` ファッション工科基礎科1年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード` 304010 | 科目名` 服飾手芸I | 授業期間 | 半期(前期) |

| | |
|-----------------|----------------|
| 担当教員(代表): 久保田桂子 | 共同担当者: 毎熊舞 田村渚 |
|-----------------|----------------|

概要
 服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニク・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。

1. **手芸一般知識(0.5)**
 手芸の変遷や技術の種類などを理解させる
2. **加飾美表現 エンブroidアリー・各種装飾技法 オリジナルバック制作 (8.5)**
 様々な手芸テクニクを用いてデザイン発想から色、素材の扱い方などを習得しオリジナルの装飾表現方法を理解、習得させる
3. **装飾造形表現 ネックレス製作 作品1点制作(2)**
 様々なパーツと糸のみで透かし模様を表現するテクニクと基本的な金具の使用
4. **レリーフ・ライク表現 ラティスマッキング 基礎刺し製作1点(1)**
 布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニクを習得させる
5. **装飾造形表現 コサージュ 作品製作1点 (2)**
 洋服の残り布や様々な素材を使用してコサージュを作り、服のデザインポイントになる装飾効果とテクニクを習得させる

評価方法・対象・比重
 S～C・F評価
 評価基準: 学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書
 教科書: 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

記載者氏名 久保田桂子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|-------------------|------|--------|
| 科コード` 12101 | 科名` ファッション工科基礎科1年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード` 400310 | 科目名` 服装解剖学Ⅰ | 授業期間 | 半期(後期) |

| | |
|-----------------|--------------|
| 担当教員(代表): 足立美智子 | 共同担当者: 高見澤ふみ |
|-----------------|--------------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体(骨格)に関する基礎知識を学習させる。次に人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識させる。

| コマ | 内 容 | コマ | 内 容 |
|----|-------------------------|----|-----|
| 1 | オリエンテーション(講義内容の説明) | 16 | |
| 2 | 計測機器と計測方法(服飾造形授業と連動) | 17 | |
| 3 | 青年の体型特徴(シルエットデータ分析) | 18 | |
| 4 | 人体の構成と衣服(人体の骨格) | 19 | |
| 5 | 人体の構成と衣服(頭部) | 20 | |
| 6 | 人体の構成と衣服(脊柱と衣服パターン) | 21 | |
| 7 | 人体の構成と衣服(脊柱と衣服パターン) | 22 | |
| 8 | 人体の構成と衣服(胸郭・乳房) | 23 | |
| 9 | 人体の構成と衣服(胸郭・乳房) | 24 | |
| 10 | 人体の構成と衣服(乳房と前身頃・上肢帯) | 25 | |
| 11 | 人体の構成と衣服(上肢帯と自由上肢骨) | 26 | |
| 12 | 人体の構成と衣服(上肢帯と下肢帯の違い) | 27 | |
| 13 | 人体の構成と衣服(下肢帯と自由下肢骨) | 28 | |
| 14 | 人体の外観と衣服(下肢帯と下衣) | 29 | |
| 15 | 障がい者衣料について(現状と研究活動について) | 30 | |

評価方法・対象・比重
 ノート提出・出欠状況…50%、確認テスト…25%、骨と原型についてのプリント…25%

| |
|-------------------------|
| 主要教材図書` 服装解剖学ノート(文化出版局) |
| 参考図書` なし |
| その他資料` なし |

記載者氏名` 足立美智子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | | |
|-------|--------|-----|--------------|----|------|-----|
| 科コード | 12101 | 科名 | ファッション工科基礎科 | 1年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | 900110 | 科目名 | 英会話 I (自由選択) | | 授業期間 | 後期 |

| | |
|-------------------|-----------------------------------|
| 担当教員(代表) : 薩田 須美子 | 共同担当者 : 原田千尋、ヴォーン・アリソン、ケネス・トウルファン |
|-------------------|-----------------------------------|

科目概要 (教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

英語の基本的な文法の復習と確認をすることだけでなく、英語を使ってコミュニケーションが出来るようになる事を最終目標にすえた英語に親しむ実践的なコース運営を目指す。

グループ、ペア・ワークを中心に会話の模擬体験を通して、コミュニケーションには何が必要かを体感してもらいたい。ファッションを専攻している学生なのでファッションに関する語彙なども導入する。

| 回数 | テーマ |
|----|-------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション/自己紹介 |
| 2 | 過去形復習・夏休みの報告 |
| 3 | 質問形のバリエーション |
| 4 | アポイントメントをとる/約束をする |
| 5 | 好きな事/嫌いな事 |
| 6 | 推測の表現/I'm sure, I guess・might, etc. |

| | |
|----|--------------------------|
| 7 | 推薦の表現/must・have to, etc. |
| 8 | ソーシャルメディア |
| 9 | ファッション |
| 10 | インタビュー |
| 11 | ファッションアイテム |
| 12 | ファッション/色、柄の英語表現 |
| 13 | スタイル/コーディネート |

評価方法・対象・比重
出席状況、授業参加態度をベースに評価する

主要教材図書・参考図書・その他資料等 : "Fashionable English" Nan' un-do

記載者署名欄 薩田 須美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|-------------------|------|-----|
| 科コード` 12101 | 科名` ファッション工科基礎科1年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード` 904510 | 科目名` キャリア開発Ⅰ | 授業期間 | 通年 |

| | |
|------------------------------------|--|
| 担当教員(代表) : 早瀬千加子他担任、 飯島 一敏、森 薫子 | 共同担当者 : 1-早瀬・2-池端・3-森本・4-松本・5-徳増 6-森本 飯島、森 |
|------------------------------------|--|

【科目概要】

- ・人材育成のための講義と進級に関する講義で構成する。
(キャリアに関しては別紙参照)
- ・新しい環境の中で社会人と学生の違いを認識し、将来の進路を考えるきっかけを作る。また、コミュニケーション能力を高め、自分という存在について考え成長できる『人間力』の育成を目指す。
- ・各自の適性を把握し、進路について考え将来の方向性を決める。

【授業計画】

キャリア開発Ⅰ 後期集中7コマ
別紙参照

オリエンテーション2コマ
進級相談・上級教室見学5コマ

評価方法・対象・比重

評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

キャリア: プリント

参考図書

なし

その他資料

各種参考資料他

記載者署名欄 早瀬 千加子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|------|-----|
| 科コード | 12101 | 科名 | ファッション工科基礎科1年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | 980010 | 科目名 | 特別講義 I | 授業期間 | 通年 |

| | |
|---------------------|--|
| 担当教員(代表) : 早瀬千加子他担任 | 共同担当者 : 1-早瀬・2-池端・3-北山・4-松本・5-徳増 6-森本 |
|---------------------|--|

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)
 ・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。
 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。

【授業計画】

1. マーケットリサーチ (1コマ)
波多野 辰美 先生
2. トータルコーディネーションとは・・・ヘア・メイクについて (1コマ)
夏目 幸恵 先生 斎藤 房枝先生
3. コンピュータグラフィック・・・ポートフォリオ作成 (3コマ)
松尾 一弘 先生
4. マーチャンダイニング・・・(1コマ)
住吉 宏史 先生
5. ファッション業界について・・・アパレル業界の現状について (1コマ)
未定
6. 日本の装束・・・着物の一般知識・着装コーディネート・着付け (3コマ)
伊丹 宗友先生
7. 歌舞伎鑑賞オリエンテーション (1コマ)
窪寺 祐司 先生
8. ニッセンケン安全服・・・子供服 (1コマ)
滝口 順司・竹中 直 先生 吉村 とも子先生
9. 下着の知識・・・下着の歴史、役割、サイズ、取扱いについて (1コマ)
増田 亜紀子 先生 小林 知美先生
10. ニットデザインについて (1コマ)
宮川 里恵
11. パタンナーについて (1コマ)
依田 聖彦

評価方法・対象・比重
 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書
なし

参考図書 なし

その他資料 プリント他

記載者署名欄 **早瀬 千加子**

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|------|-----|
| 科コード | 12101 | 科名 | ファッション工科基礎科1年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | 930010 | 科目名 | 校外研修 I | 授業期間 | 前期 |

| | |
|---------------------|--|
| 担当教員(代表) : 早瀬千加子他担任 | 共同担当者 : 1-早瀬・2-池端・3-北山・4-松本・5-徳増 6-森本 |
|---------------------|--|

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

- ・都会生活から離れた「山荘」における団体生活の体験。
- ・野外活動・体育活動など諸活動を通して指導力・協調の精神を養い、コミュニケーション能力の向上を目指す。
- ・個人相互およびクラス間・学年間の親睦を深める。

コミュニケーションキャンプ(3クラス合同)
文化北竜館(2泊3日)

- ・オリエンテーション
- ・クラスミーティング
- ・コミュニケーション活動
 - プログラム1 ・3クラス合同のコミュニケーション
・グループコミュニケーション
 - プログラム2 ・野外炊飯
 - プログラム3 ・スコアオリエンテーリング
- ・体育活動
- ・キャンプファイヤー(雨天の場合キャンドルサービス)
- ・見学
 - ・北竜湖資料館
 - ・世界の民俗人形博物館(小池千枝コレクション)
 - ・須坂版画美術館
 - ・善光寺散策等

評価方法・対象・比重
評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定を決定する

主要教材図書
なし

参考図書
なし

その他資料
小冊子・プログラム他

記載者署名欄
早瀬 千加子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|-----------------|------|-------|
| 科コード | 12101 | 科名 | ファッション工科基礎科1年 | 単位 | (1単位) |
| 科目コード | 947100 | 科目名 | コラボレーションa(自由選択) | 授業期間 | 通年 |

| | |
|---------------------|---------------------------------------|
| 担当教員(代表) : 早瀬千加子他担任 | 共同担当者 : 1-早瀬・2-池端・3-北山・4-松本・5-徳増・6-森本 |
|---------------------|---------------------------------------|

【科目概要】

- ・1年次では、産業とのかかわりを持つことにより、企業とその実務を知るきっかけをつくり、課外活動(コンテスト活動など)への積極的参加を推進することを目標とする。
- ・個々の能力に合わせて各自の専門性を追及する。

【授業計画】

ニッセンケン品質評価センター×文化服装学院ファッション工科基礎科

- ・ JISに基づく安全服について理解を深め、安全を考慮した子供用安全服のデザインを理解しその上でデザイン案を企画し、実物制作を行う。プレゼンテーションと共に発表、学外の企業や検査機関に評価・好評をお願いする。
- ・ 学生の就職活動や自己アピール研鑽の機会とする。
- ・ 将来のファッション業界の人材に対し、社会的弱者を守る(ファッション+αの社会貢献)思想を育む。

評価方法・対象・比重

評価基準:コラボレーションの企画内容と期間により単位修得とする。

主要教材図書

なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者署名欄 早瀬 千加子